

## こころの健康

柏熊神一

「あなたは幸せですか」と問われたら、何と答えるでしょうか。  
あるご婦人の集まりでは、大半の人が「さあ」と言葉をこぼしてしまいました。「そんなこと考えたこともない」、「このせちがら世の中ではねえ」。どうも、幸せで快適な状態というにはほど遠いようです。  
幸福と健康とはむろん同じではありませんが、それが「心の健康」の重要な条件であることは間違いないです。ということば、不健康とはいえないまでも、問題状況にあることを示しています。

ニューヨークの調査では、高校生の三分の一がマリファナなどの麻薬類を経験していたといえます。人の心が荒廃しているのです。何しろ、強盗やひったくりは日常茶飯事で、人殺しさえ珍しくないといわれます。  
わが東京でも程度の差こそあれ、似たようなところがあつちやうちです。若い母親がコインロッカーに赤ちゃんを捨てたり、青少年がシンナー遊びに走り回り、カミナリ族がなわばりを争って深夜の乱闘を繰り返しています。理由のない家出や登校拒否症なども増えています。一人暮らしの老人の死が



かしくま・こうじ  
大正大学教授/  
社会学

6月の強い日ざし。若いお母さんたちが、お年寄りのグループに、お手玉のつくり方を教わっていました。「古きよきもの」も次の世代へ受け継ぎ、残していくことが見直されてきています。

気づかれないままに、何カ月もたつてから発見されたという事件も報じられています。  
余裕がなく、孤立しています。満員電車の乗客のように、人はたくさんいるのですが、お互いに交流がなく、みんな自分のことしか眼中にありません。  
このまま進めば、やがてコンクリート・ジャングルになってしまうでしょう。私たち自身のためにも、後の世代のためにも、何とかしてそれをくいとめねばなりません。そのためには地域生活を豊かなものにする必要があります。美しい環境を取り戻し、各種施設を整備拡充するとともに、住民の連帯感を強化して、心のふるさとをつくるのです。  
その場合、拠点ともいべきコミュニティ・センターの設置が望まれますが、新しくつくるのが難しければ、学校か出張所の体質を変えて、それにあてることはできないでしょうか。現に山のなかの学校では、そこが村の人たちの集会場であり、盆踊りや郷土芸能の練習や発表の場であり、また、ぶらりとやってくる情報を交換し、困らざるサロンともなっています。そんな機能を果たすところを私たちの町にもほしいと願っています。  
それとともに、問題をかかえている人を助け、悩みを解決するための専門機関と人の配置を地域のレベルで考えることも必要のように思われます。出張所に相談室を設けて、定期的に開くようにするのによいでしょう。区にカウンセラーが常駐して電話相談を受けるのも一案です。  
子どものしつけや各種の人間関係、仕事や生活の不安などで悩んでいる人はたくさんいます。それらの人たちの話を親身に聞いて、適切な指導と助言をすることができれば、救われる人も多に違いありません。

健康都市の建設は、地道な息の長い努力が必要です。徐々にはあっても確実に実を結ぶように、区民の一人として願っています。

## 第二一回臨時会 5/20

### 学校工事請負契約など八件可決 議会役員も改選

5月20日から24日までの五日間、第二回臨時会が開かれ、区長提出議案八件をすべて全会一致で可決した。  
議案の内訳は、小学校増設工事請負契約六件、区長が専決処分した区税条例改正と調停事件の和解報告である。  
また、24日の本会議では、議長・副議長・議員選出監査委員の改選、常任委員の選任と三特別委員会の設置・委員選任を行った(委員会構成は裏面に別掲)。  
そのほか、委員会審査を終えた請願・陳情三十四件を議決、要望書提出の報告六件を承認した。なお、引続き委員会で審査される請願・陳情は五十四件である。

地方税法が一部改正され、4月1日から施行となったのに伴う改正。主な改正点は、①「電気ガス税」を「電気税」「ガス税」に分け、それぞれ免税点を引き上げた、②障害・未成年・老年・寡婦の非課税範囲を現行四十三万円から五十万円に上げた、③みなし法人課税制度、老年年金特別控除額制度の創設など。  
●所有権確認等調停事件の和解(専決処分報告)  
柏谷二丁目四八〇番ほかの畑地、六六四平方分の土地所有権をめぐって、区を相手に45年から調停を申し立てていた事件。  
区が申立人に譲受代金二十万円を支払い、所有権移転登記することの和解が成立。  
●議長・副議長選挙  
大高定左右議長、小山菊男副議長辞任に伴い、選挙を行った。  
当選 議長 小山雄央(自民)  
当選 副議長 奈良友雄(自民)  
●監査委員選任同意  
門井一郎、岩根志津子両委員の辞任に伴い、左の新委員を選任。  
亀井重光(自民) 園田 集(社会)  
●要望書提出の報告 六件(裏面別掲)

●区税条例改正(専決処分報告)  
●小学校校舎増設工事請負契約 六件  
多聞小 八三三〇〇万円 (株)島田工務店  
松沢小 一億三五〇〇万円 (株)徳田組  
中丸小 七五三〇〇万円 (株)加藤組  
砧南小 九九九〇〇万円 三神建設(株)  
池尻小 一億三四八五万円 小野建設(株)  
用賀小 一億一五四〇万円 大誠工業(株)  
委員会審議では、区が積算した予定価格に対し、落札価格が大幅に下回った点が追及された。

## 議長・副議長紹介



小山雄央議長 六十六歳 自由民主党  
代田六丁目一七七八  
福島県出身 神田電機学校卒 会社社長  
区議五期 元区議会議長  
奈良友雄副議長 四十五歳 自由民主党  
大原二丁目五九一九  
青森県出身 日本歯科大学卒 歯科医師  
区議二期 元区議会厚生常任副委員長

## 事務拡充の受入準備を報告 (全員協議会)

保健のしごとなど都の事業の一部が、昭和50年から区に移されることになった。そこで、区ではこれらの受入対策として「特別区制度改革に伴う財政・人事および世田谷区における組織・職員定数等について」を発表し、5月11日の全員協議会で議会側に報告した。  
これは当区がどのようにしごとを受入れ、整備したらよいかを、「特別区制度改革問題対策委員会」(区職員構成)を設けて検討しているもの。

